

2021年度第2回豊岡市障害者自立支援協議会全体会議 会議録要旨

注) 会議録については、発言内容を一言一句正確に整理したものではありません。
発言内容をもとに一部表現(文言)を変えて表記している箇所があります。

○日 時：2022年3月22日(火) 13:30~14:45

○会 場：豊岡市立野庁舎 1階 多目的ホール

○出席者： 17名

○欠席者： 4名

○傍聴者： 2名

○会議要旨

1 開 会

2 あいさつ

3 新しい委員の紹介

4 報告・協議事項

(1) 部会及びグループの取組について

① しごと部会

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答等

【会長】

しごと部会の活動の見直しが必要であるとのことで、次年度に向けて検討を進めていただきたい。

② こども部会

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答等

【会長】

事業所内で、就学に向けての説明の時間をとらせていただくが、今年は「就学ガイドブック」の冊子があったおかげでスムーズにできた。

【F委員】

「空き状況がわからず、電話をかける負担感がある。」となっているが、事業所も、他の事業所の空き状況がわからず、グループホームなどいたるところに電話をかけている。どこかで見られるようシステム化されたいと思う。

【副会長】

前回の会議で、SNSに挙げる方法を話した。SNSに挙げても、すでに埋まってしまっている、ということは起きるかもしれないが、システム化にしても同様である。あまりコストをかけなくても、使う側にとってもいい方法なので、そういう方法が妥当ではないか。

【こども部会長】

こども部会でも話し合っているが、空き状況を出してもすぐに埋まってしまうということがある。また、曜日・時間限定の空き状況のようで、保護者との要相談となり、広く空いているということが言えないようである。各事業所のメールアドレスを把握しており、保護者とメールで対応してもらうことで終結している。

【会長】

グループホームの空き状況など、簡単に誰でも見られるものができたらいい。情報関係に詳しい方があったら考えていただけたらと思う。

【副会長】

セルフプランが必ずしも悪いことではない。積極的にやっている自治体と、人材がいなくてやっている自治体の2通りある。前者のほうが結果的に人材不足であっても、様々なことを自分で決めるとするのは悪いことではない。

③ せいかつ部会

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答等

【副会長】

ガイドヘルパーの使い勝手がよくない、ということがよく言われている。豊岡市だけでは解決できる問題ではない。但馬の他の自治体はどうされているのか。一緒にされてはどうか。

④ 相談支援グループ

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答等

特になし

(2) 運営会議からの報告について

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答等

【F委員】

「資料3」現在の一般相談支援の委託先で、委託金額に差があると思うが、次年度見直しをする予定はあるか。

【事務局】

それぞれ委託の形態が異なっている。北但広域療育センターは指定管理となっていて、委託

相談と計画相談が含まれている。豊岡市社会福祉協議会は、基幹相談支援センター等業務、委託相談が含まれている。ほおずきは、精神障害者の委託相談となっている。

今後、一定の基準で見直しすることを検討している。

【D 委員】

研修会を通して、事業所の職員が顔を合わせて、豊岡市の福祉をどうしていきたいかを話し合えるような土壌がつくれたらと思っている。豊岡市の事業所は多いが、障害者自立支援協議会のこと知れ渡っていないことが現状である。協議会が主催する研修会を通して知っていただき、日頃の課題を協議会に出したらいいと思ってもらえるような場を作っていきたい。

【副会長】

資料3の参考資料で、「4 市内の相談支援専門員の人数」について、障害者の数、サービス利用者の数等を比べて、豊岡市とほぼ似ている自治体はあるのか。豊岡市と同じようなパターンが出ているのではないかと。

【事務局】

相談支援専門員（1人あたりの担当件数）は、豊岡市と朝来市が近い数値となっている。

【副会長】

豊岡市の10年以上の相談支援の問題が、朝来市でも同じように起こっているかもしれない。面積とか、年齢階層とか、朝来市と共通している部分もあるかもしれない。但馬圏内で意見交換等ができるのではないかと思う。

【F 委員】

豊岡市は、委託する法人が少ないと感じる。養父市、香美町、新温泉町は委託事業所が多い。豊岡市は、現在3法人である。新規立ち上げの際には費用が多くかかる。そこを一緒に考えてもらえたらありがたいと思う。

5 その他

特になし

6 閉 会

【副会長】

市の事務量が増えている。障害者のことを議論する場が増えるが、事務が回らないということも考えられる。全体会議を2回開いているが、計画策定の年以外は、2回の内1回は書面会議にするなどして、工夫をしたらどうか。空いた時間とエネルギーを、障害者自立支援協議会のPRに使うのもいいと思う。会長、運営会議で議論していただけたらと思う。